

製品名: QM ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16729**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間、マウス、ラット、猫
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	RPL10
別名	RPL10; DXS648E; QM; 60S ribosomal protein L10; Laminin receptor homolog; Protein QM; Tumor suppressor QM
遺伝子 ID	6134.0
SwissProt ID	P27635
免疫原	抗血清はヒト 60S リボソームタンパク質 L10 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

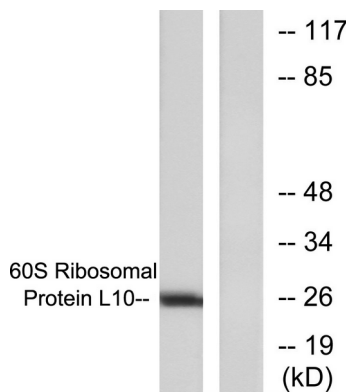
背景

この遺伝子は、60S リボソームサブユニットの構成要素であるリボソームタンパク質をコードしています。ニワトリの関連タンパク質は c-Jun に結合し、c-Jun を介した転写活性化を抑制することができます。この遺伝子の変異と自閉症スペクトラム障害との関連が示唆されている研究もありますが、関連性を認めない研究もあります。この遺伝子には複数の擬遺伝子がゲノム中に散在しています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2015 年 1 月]、発達段階: 脂肪細胞、腎臓、心臓の分化過程においてダウンレギュレーションが認められます。、疾患: RPL10 遺伝子の欠損が X 連鎖性自閉症の感受性の原因である可能性があります[MIM:209850]。自閉症は広汎性発達障害 (PDD) であり、典型的な特徴としては、相互の社会的相互作用およびコミュニケーションの障害、興味および活動の限定的かつ定型なパターン、および 3 歳までに発達異常が存在することが挙げられます。、類似性:リボソームタンパク質 L10e ファミリーに属します。、

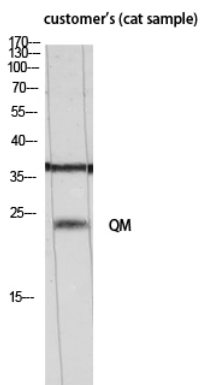
研究分野

リボソーム;

画像データ



インスリン 0.01u/ml を 15 分間処理した K562 細胞のライセートを、60S リボソームタンパク質 L10 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンには合成ペプチドでブロックされている。



1: 500 に希釈した QM ポリクローナル抗体を使用した顧客 (猫サンプル) のウェスタンブロット分析